

浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺

ご開山聖人 御正忌 報恩講 法要

ごしょうき ほうおんこう ほうよう

西本願寺
NISHI HONGWANJI

2026(令和8)年1月9日～16日

誰もが、ただ、いていい場所。

西本願寺
NISHI HONGWANJI

龍谷山本願寺(西本願寺)
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
TEL 075-371-5181(代)
FAX 075-371-7601

※P.11・12に法要・行事等の詳細を記した境内案内図を掲載いたしておりますので、そちらも併せてご参照ください。



恩徳讃

如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も
ほねをくだきても謝すべし



目次

恩徳讃……1
ご挨拶〈浄土真宗本願寺派総長　園城　義孝〉〈本願寺執行長　藤實　無極〉……3
浄土真宗の教章（私の歩む道）……5
領解文／報恩講の歌……6
ご親教「念仏者の生き方」……7
御正忌報恩講法要 全日程表……9
御正忌報恩講法要 境内案内図……11
法要日程（9日～16日）……13
お斎……14
御法楽献詠入選歌……18
通夜布教（15日～16日）……23
御正忌報恩講 法要期間中 の関連行事……24
「令和6年能登半島地震 災害義援金」募集について……31
親鸞聖人のご生涯〈御絵伝解説〉……32
大谷本廟（京阪バス時刻表）……41
日野誕生院／角坊……42
帰敬式……43
「院号」をいただくには……44
免物……45
携行本尊……46
本願寺よりのご案内……47
お西さんで過ごす一日／お西さんを知ろう！
2026（令和8）年 本願寺の法要行事日程……49
御正忌報恩講法要期間中の仏華……50

御正忌報恩講法要

ごしょうきほうおんこうほうよう

2026（令和8）年

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦労を通して、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただくことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めしています。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申しましょう。

御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長　園城義孝
本願寺執行長　藤實無極

新春早々、みなさまには、厳しい寒さのなか、遠近各地からようこそご本山へご参拝くださいました。

浄土真宗において「報恩講」は、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀如来の智慧と慈悲のお心をあらためて深く味わわせていただく大切なご法要として、各ご寺院をはじめ、ご家庭においてもお勤めされております。殊に親鸞聖人の御真影さまをご安置し、念仏者の心のふるさとである本山本願寺では『御正忌報恩講法要』と称し、一年を通して最も大切なご法要として、毎年一月九日から十六日の八日間、厳粛にお勤めさせていただき、全国から多くの方々がご参拝になります。

本年も、みなさまとともに御正忌報恩講法要をお迎えさせていただきますことは、大変有難く、身の引き締まる思いであります。

親鸞聖人は九十年のご生涯を通して、阿弥陀如来の本願力によって「南無阿弥陀仏」のお念仏を申す往生成仏の道を歩まれる中で、み教えをお示しくださいました。そのみ教えをいただく私たちは、親鸞聖人を慕わせていただくとともに、阿弥陀如来の智慧と慈悲とに照らされ包まれる中で、敬い合い、支え合い、ともにお念仏申す道を歩ませていただきましょう。

このたびの、御正忌報恩講法要を通して、お念仏申させていただく有難さ尊さを味わうご縁としていただきたいと存じます。

合掌

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名　浄土真宗
宗祖（ご開山）　親鸞聖人
　ご誕生　一一七三年五月二十一日（承安三年四月一日）
　ご往生　一二六三年一月十六日（弘長二年十一月二十八日）
宗派　浄土真宗本願寺派
本山　龍谷山 本願寺（西本願寺）
本尊　阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）
聖典
・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」
『仏説無量寿経』
『仏説観無量寿経』
『仏説阿弥陀経』
・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教
『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）
『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』
・中興の祖 蓮如上人のお手紙
『御文章』

教義

阿弥陀如来の本願力によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈祷などによることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

領解文

もろもろの雑行雑修自力のこころをふりすてて、一心に阿弥陀如来、われらが今度の一大事の後生、御たすけそうらえとたのみもうしてそうろう。たのむ一念のとき、往生一定御たすけ治定とぞんじ、このうえの称名は、ご恩報謝とぞんじ、よろこびもうしそうろう。この御ことわり聴聞もうしわけそうろうこと、ご開山聖人ご出世のご恩、次第相承の善知識のあさからざるご勧化のご恩と、ありがたくぞんじそうろう。このうえはさだめおかせらるる御おきて、一期をかぎり、まもりもうすべくそうろう。

報恩講の歌

作詞：日曜学校同人　黒瀬知圓
作曲：野村成仁

和歌の浦曲の　片男波の
寄かけよせかけ　帰る如く
我世に繁く　通い来り
み仏の慈悲　つたえなまし

一人居てしも　喜びなば
二人と思え　二人にして
喜ぶおりは　三人なるぞ
その一人こそ　親鸞なれ

（三番以降省略）

伝灯奉告法要　ご親教「念仏者の生き方」

仏教は今から約二五〇〇年前、釈尊がさとりを開いて仏陀となられたことに始まります。わが国では、仏教はもともと仏法と呼ばれていました。ここでいう法とは、この世界と私たち人間のありのままの真実ということであり、これは時間と場所を超えた普遍的な真実です。そして、この真実を見抜き、目覚めた人を仏陀といい、私たちに苦悩を超えて生きていく道を教えてくれるのが仏教です。

仏教では、この世界と私たちのありのままの姿を「諸行無常」と「縁起」という言葉で表します。「諸行無常」とは、この世界のすべての物事は一瞬もとどまることなく移り変わっているということであり、「縁起」とは、その一瞬ごとにすべての物事は、原因や条件が互いに関わりあって存在しているという真実です。したがって、そのような世界のあり方の中には、固定した変化しない私というものは存在しません。

しかし、私たちはこのありのままの真実に気づかず、自分というものを固定した実体と考え、欲望の赴くままに自分にとって損か得か、好きか嫌いかなど、常に自己中心の心で物事を捉えています。その結果、自分の思い通りにならないことで悩み苦しんだり、争いを起こしたりして、苦悩の人生から一歩たりとも自由になれないのです。このように真実に背いた自己中心性を仏教では無明煩悩といい、この煩悩が私たちを迷いの世界に繋ぎ止める原因となるのです。なかでも代表的な煩悩は、むさぼり・いかり・おろかさの三つで、これを三毒の煩悩といいます。

親鸞聖人も煩悩を克服し、さとりを得るために比叡山で二十年にわたりご修行に励まれました。しかし、どれほど修行に励もうとも、自らの力では断ち切れない煩悩の深さを自覚され、ついに比叡山を下り、法然聖人のお導きによって阿弥陀如来の救いのはたらきに出遇われました。阿弥陀如来とは、悩み苦しむすべてのものをそのまま救い、さとりの世界へ導こうと願われ、その願い通りにはたらき続けてくださっている仏さまです。この願いを、本願といいます。我執、我欲の世界に迷い込み、そこから抜け出せない私を、そのままの姿で救うとはたらき続けていてくださる阿弥陀如来のご本願ほど、有り難いお

慈悲はありません。しかし、今ここでの救いの中にありながらも、そのお慈悲ひとすじにお任せできない、よろこべない私の愚かさ、煩悩の深さに悲嘆せざるをえません。

私たちは阿弥陀如来のご本願を聞かせていただくことで、自分本位にしか生きられない無明の存在であることに気づかされ、できる限り身を慎み、言葉を慎んで、少しずつでも煩悩を克服する生き方へとつくり変えられていくのです。それは例えば、自分自身のあり方としては、欲を少なくして足ることを知る「少欲知足」であり、他者に対しては、穏やかな顔と優しい言葉で接する「和顔愛語」という生き方です。たとえ、それらが仏さまの真似事といわれようとも、ありのままの真実に教え導かれて、そのように志して生きる人間に育てられるのです。このことを親鸞聖人は門弟に宛てたお手紙で、「(あなた方は)今、すべての人びとを救おうという阿弥陀如来のご本願のお心をお聞きし、愚かなる無明の酔いも次第にさめ、むさぼり・いかり・おろかさという三つの毒も少しずつ好まぬようになり、阿弥陀仏の薬をつねに好む身となっておられるのです」とお示しになられています。たいへん重いご教示です。

今日、世界にはテロや武力紛争、経済格差、地球温暖化、核物質の拡散、差別を含む人権の抑圧など、世界規模での人類の生存に関わる困難な問題が山積していますが、これらの原因の根本は、ありのままの真実に背いて生きる私たちの無明煩悩にあります。もちろん、私たちはこの命を終える瞬間まで、我欲に執われた煩悩具足の愚かな存在であり、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いはできません。しかし、それでも仏法を依りどころとして生きていくことで、私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心にかなう生き方を目指し、精一杯努力させていただく人間になるのです。

国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心にかなうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう。

二〇一六(平成二十八)年十月一日

浄土真宗本願寺派門主　大谷光淳

※このご親教は、伝灯奉告法要初日にお示しくださいました。

2026（令和8）年

御正忌報恩講法要 全日程表

9日 逮夜法要～16日 日中法要

《関連行事》

★A…11日（日）　12：30～　第69回 全国児童生徒作品展表彰式 【阿弥陀堂】
★B…12日（月・祝）　13：15～　御法楽献詠歌入選者表彰式 【御影堂】
★C…15日（木）　11：50～　講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】

時間	6:00	8:10	10:00	11:10 ～11:50	12:10 ～12:50	14:00	15:30 ※15日は18:00	16:00以降
法要行事	晨朝	常例布教	日中法要	特別講演	親鸞聖人のご生涯（御絵伝解説）	逮夜法要	初夜	
場所	阿弥陀堂 御影堂	総会所	御影堂	総会所	総会所	御影堂	御影堂	
YouTubeチャンネル	本願寺チャンネル	本願寺チャンネル	宗派チャンネル	宗派チャンネル		宗派チャンネル	宗派チャンネル	
9日（金） 開門5:30/閉門17:00						大師影供作法	改悔批判	
10日（土） 開門5:00/閉門17:00	阿弥陀経【阿】 日没礼讃【影】	本願寺派布教使 中村 啓誠	二門偈作法	―	〈第一幅〉 三ケ本 義唯	奉讃大師作法	正信偈 改悔批判	
11日（日） 開門5:00/閉門17:00	讃仏偈【阿】 初夜礼讃【影】		新制御本典作法	真宗大谷派僧侶 廣陵 兼純	〈第二幅〉 正親 一宣 ★A	正信念仏偈作法 第三種	正信偈 改悔批判	15日 16:00～17:30 奉讃演奏会 2026 場所：総会所 宗派チャンネル
12日（月・祝） 開門5:00/閉門17:00	讃仏偈【阿】 中夜礼讃【影】		奉讃大師作法	本願寺派勧学 宇野 惠教	〈第三幅〉 朝山 大俊	★B 浄土法事讃作法	正信偈 改悔批判	
13日（火） 開門5:00/閉門17:30	阿弥陀経【阿】 後夜礼讃【影】	本願寺派布教使 小林 顯英	二門偈作法	本願寺派僧侶 やなせなな	〈第四幅〉 若林 唯人	宗祖讃仰作法（音楽法要）	正信偈 御伝記拝読	
14日（水） 開門5:00/閉門17:00	讃仏偈【阿】 晨朝礼讃【影】		正信念仏偈作法 第三種	地域情報誌『ハンケイ500m』編集長 円城 新子	―	大師影供作法 引き続き 御俗姓拝読	正信偈 改悔批判	15日19:00 ～16日5:40 通夜布教 場所：総会所 多目的ホール 宗派チャンネル ※総会所のみ
15日（木） 開門5:00/閉門19:30	讃仏偈【阿】 日中礼讃【影】		新制御本典作法	本願寺派布教使 紫藤 常昭 ★C	―	広文類作法 引き続き ご門主様ご親教	18:00 正信偈 改悔批判	
16日（金） 開門5:00/閉門17:00	漢音小経【阿】 正信偈（真譜）【影】		報恩講作法					

※【阿】…阿弥陀堂　【影】…御影堂

※15日の逮夜法要後、ご門主様よりご親教がございます。

お頭人（とうにん）

お頭人（とうにん）とは、御正忌報恩講法要中における初夜勤行（しょやごんぎょう）（斎、非時（とき ひじ）の勤行）に正信偈（しょうしんげ）を勤める調声人（ちょうしょうにん）のことです。喚鐘（かんしょう）が鳴ると、係の者（承仕（じょうし））が外陣（げじん）で「お頭人！お頭人！」と大きく呼ぶ声が御堂中に響き渡り、お勤めが始まります。



● 法要中継について ▶LIVE

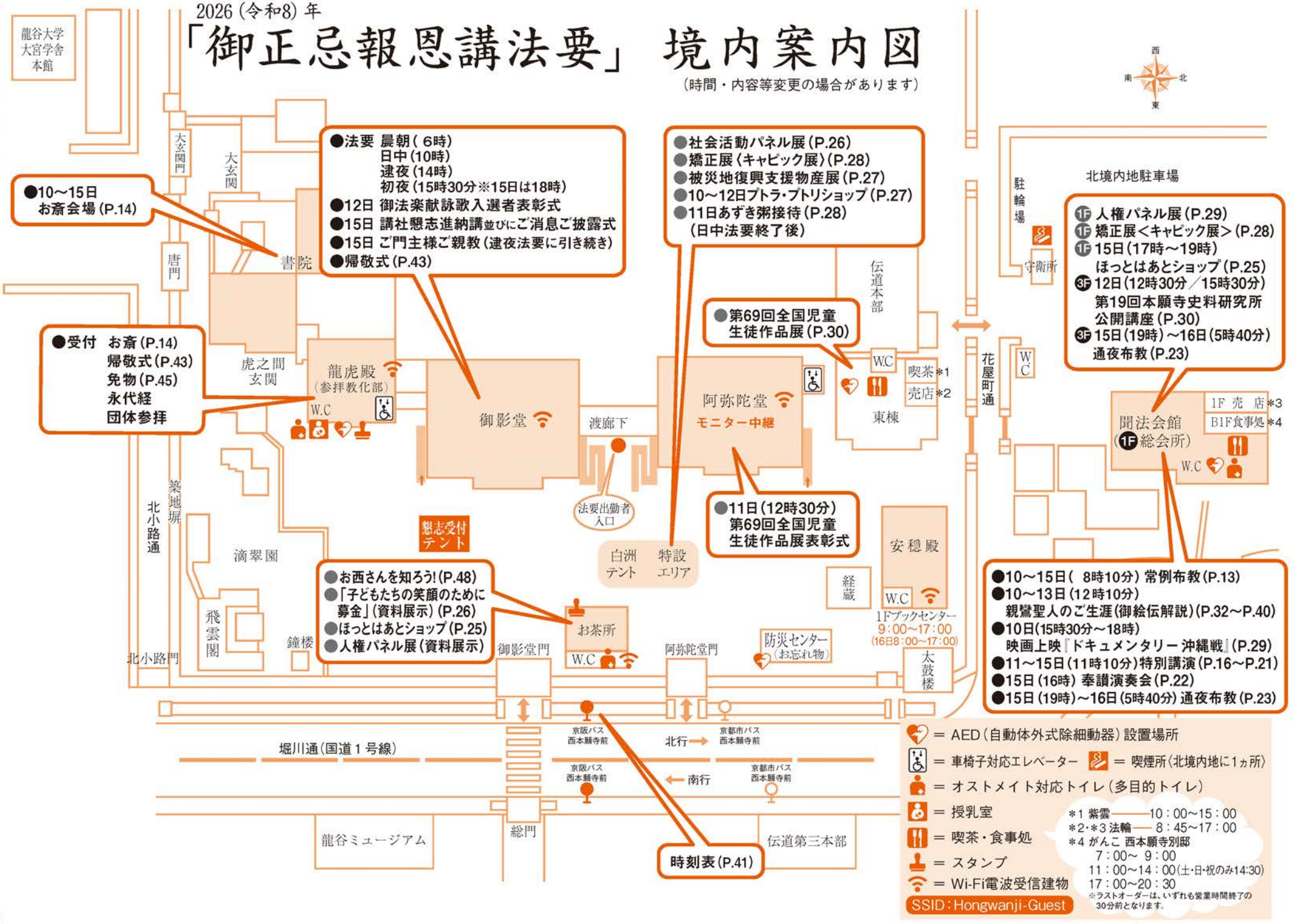
法要の模様は随時インターネットにてライブ中継・配信いたします。

御正忌報恩講法要 全日程表

2026（令和8）年

「御正忌報恩講法要」境内案内図

（時間・内容等変更の場合があります）



= AED（自動体外式除細動器）設置場所
= 車椅子対応エレベーター
= 喫煙所（北境内地に1ヵ所）
= オストメイト対応トイレ（多目的トイレ）
= 授乳室
= 喫茶・食事処
= スタンプ
= Wi-Fi電波受信建物

SSID：Hongwanji-Guest

*1 紫雲 10：00～15：00
*2・*3 法輪 8：45～17：00
*4 がんこ 西本願寺別邸
7：00～9：00
11：00～14：00（土・日・祝のみ14:30）
17：00～20：30
※ラストオーダーは、いずれも営業時間終了の30分前となります。

御正忌報恩講法要(日程)

開門 5:30　閉門 17:00

帰敬式(御影堂)
午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

9日 金

13時30分頃	御堂布教	御影堂
13時55分	御親開扉	御影堂
14時00分(約45分)	逮夜法要 大師影供作法	御影堂
15時30分(約25分)	初夜〔改悔批判〕	御影堂

常例布教 総会所　8時10分　20分間　※10~15日

御堂布教
〈日中法要前〉9時30分頃　15分間
〈逮夜法要前〉13時30分頃　15分間

9日午後~12日午前
親鸞聖人ってどんなお方?

中村啓誠師
安芸教区 佐伯東組 光乗寺

12日午後~16日午前
ほとけはつねに

小林顯英師
大阪教区 榎並組 法栄寺

※16日午後より通常通り

P.22



経文については、別冊の『御正忌報恩講法要勤行集』をご参照ください。

御親開扉

御正忌報恩講法要をお迎えするにあたり、ご門主様により、御真影様ご安置の御厨子の扉が開けられます。

改悔批判

※13日は御伝記拝読のためおこないません。

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。

現在は、9日から15日の初夜に、改悔批判をおこなっています。

今年の与奪者は森田浄円勧学です。

要申込

お斎(とき)



とき ● 1月10日(土)~15日(木)
【1回目】12時頃~　【2回目】13時頃~
※定員【各回120名】
※10日は12時30分~のみ

ところ ● 書院(鴻之間)　全席椅子席

仏教では、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『斎』といいます。

本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、日中法要後にお斎の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっています。

本願寺でのお斎は、動物性の食材は一切用いず、一汁五菜を基本にした精進料理で、蜜柑(和歌山 有田北組の皆様がご進納)とお酒を土産にお持ち帰りいただいています。

お申し込みについては、参拝教化部までおたずねください。

・お一人様につき一万円以上のご懇志に対するお扱いとなります。

☞ 担当部　参拝教化部〈龍虎殿1階〉　※以下ページ担当部は☞で表記

10日 土

開門 5:00　閉門 17:00

帰敬式（御影堂）

午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

6時00分	晨朝〔小経(呉音)・往生礼讃偈(日没)〕	両堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約45分）	**日中法要　二門偈作法**	御影堂
12時10分（約40分）	御絵伝解説〈第一幅〉 P.33～P.34	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分（約50分）	**逮夜法要　奉讃大師作法**	御影堂
15時30分（約60分）	初夜〔正信偈 引き続き 改悔批判〕	御影堂

親鸞聖人のご生涯（御絵伝解説）

総会所にて、布教使が四日間連続して御絵伝を場面ごとに解説いたします。

絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきましょう。

※併せて32～40ページもご参照ください。

と　き ● 1月10日（土）～13日（火）
12時10分～12時50分

ところ ● 聞法会館１階 総会所

解説者

〈第一幅〉 10日（土） 三ケ本義唯（広島県）

〈第二幅〉 11日（日） 正親一宣（三重県）

〈第三幅〉 12日（月・祝） 朝山大俊（大阪府）

〈第四幅〉 13日（火） 若林唯人（大阪府）

参拝教化部

11日 日

開門 5:00　閉門 17:00

帰敬式（御影堂）

午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

6時00分	晨朝〔讃仏偈・往生礼讃偈(初夜)〕	両堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約40分）	**日中法要　新制御本典作法**	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
12時10分（約40分）	御絵伝解説〈第二幅〉 P.35～P.36	総会所
12時30分	第69回 全国児童生徒作品展表彰式	阿弥陀堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分（約45分）	**逮夜法要　正信念仏偈作法　第三種**	御影堂
15時30分（約60分）	初夜〔正信偈 引き続き 改悔批判〕	御影堂

11:10～11:50 特別講演

去此不遠



真宗大谷派僧侶
廣陵兼純 師

12日 月・祝

開門 5:00　閉門 17:00

帰敬式（御影堂）
午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

6時00分	晨朝（讃仏偈・往生礼讃偈（中夜））	両堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約50分）	日中法要 奉讃大師作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
12時10分（約40分）	御絵伝解説（第三幅） P.37～P.38	総会所
13時15分	御法楽献詠歌入選者表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分（約65分）	逮夜法要 浄土法事讃作法	御影堂
15時30分（約60分）	初夜〔正信偈 引き続き 改悔批判〕	御影堂

11:10～11:50 特別講演

ご本願のお心



本願寺派勧学
宇野恵教師

御法楽献詠

聞法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠は、毎年兼題を定め、僧侶・寺族・門信徒の方がたから広く歌を募っております。

本年の兼題は、『「継ぐ」実如上人500回忌法要、本如上人200回忌法要をお勤めして』とし、全国より寄せられた102首の中から次ページの5首が入選いたしました。

令和8年　御法楽献詠入選歌

兼題

「継ぐ」

～実如上人500回忌法要、本如上人200回忌法要をお勤めして～

講評　宗派月刊誌「大乗」歌壇選者　喜多　弘樹

継がれゆく　歴代宗主のおみちびき
心安けし　御名をとなうる
滋賀県　田口　洋子

《評》実如上人五〇〇回忌、本如上人二〇〇回忌法要をお勤めしての深い感慨を素直に詠まれました。心はまこと安穏にして清らかです。

縁継ぐ　御同朋と　歩み行く
念仏称うる　ただひとすじに
東京都　阿部　智英子

《評》さまざまなご縁に導かれてお念仏の道へと導かれた作者。決して一人ではありません。御同朋とともに御仏とともに歩まれます。

八百余年　受け継がれての　お念仏
我の口から　出づる喜び
和歌山県　岡　京子

《評》八百余年という長い時間を受け継がれてきたお念仏の心と形をわがものとして受け止められました。おのずから出る六字。

みどりごは　六字のみ名を　受け継ぎて
小さきその手に　しかと握りしむ
和歌山県　釘貫　文

《評》赤ん坊のあどけない仕草を眺めていると、それがいつしか六字の名号をしっかりと握りしめているように見えてきます。小さな手で。

初物の　お供え届ける　慣習を
継ぐ人ありて　おだやかな家
山口県　佐原　知子

《評》季節を彩る自然のさまざまな恵みをまずは御仏にお供えする。そういう習慣を継いでいく人が居て家が在る。穏やかな暮らしの中で。

13日 火

開門 5:00　閉門 17:30

帰敬式（御影堂）

午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

6時00分	晨朝〔小経(呉音)・往生礼讃偈(後夜)〕	両堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約35分）	日中法要 二門偈作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
12時10分（約40分）	御絵伝解説〈第四幅〉 P.39〜P.40	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分（約40分）	逮夜法要 宗祖讃仰作法（音楽法要）	御影堂
15時30分（約130分）	初夜〔正信偈 引き続き御伝記拝読〕	御影堂

11:10〜11:50 特別講演

お育ていただくということ



本願寺派僧侶 やなせなな師

『御伝記(御伝鈔)』と「御絵伝」

本願寺第三代覚如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、そのご生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。

御正忌報恩講の折にこの「御絵伝」（八幅）を御影堂の左右両余間にお掛けし、一月十三日に『御伝記』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

※本山では『御伝記』、一般には『御伝鈔』と呼びます。

14日 水

開門 5:00　閉門 17:00

帰敬式（御影堂）

午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

6時00分	晨朝〔讃仏偈・往生礼讃偈(晨朝)〕	両堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約40分）	日中法要 正信念仏偈作法 第三種	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 引き続き（約65分）	逮夜法要 大師影供作法 御俗姓拝読	御影堂
15時30分（約60分）	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂

11:10〜11:50 特別講演

多様性を大切にする お西さんの魅力



地域情報誌『ハンケイ500m』編集長 円城新子師

御俗姓

御俗姓は『俗姓の御文』とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七（文明九）年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。

15日 木

開門 5:00　閉門 19:30

帰敬式（御影堂）

午前の部 晨朝後　午後の部 13:00

6時00分	晨朝（讃仏偈・往生礼讃偈（日中））	両堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約45分）	**日中法要　新制御本典作法**	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
11時50分	講社懇志進納講並びにご消息ご披露式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	**逮夜法要　広文類作法**	御影堂
引き続き	ご門主様ご親教　手話通訳	御影堂
16時00分（約90分）	奉讃演奏会（17時30分終了予定）P.22	総会所
18時00分（約60分）	初夜〔正信偈　引き続き改悔批判〕	御影堂
19時00分	通夜布教（～16日5時40分）P.23	聞法会館（2会場）

11:10～11:50
特別講演

お仏壇のある家に暮らすこと



本願寺派布教使
紫藤常昭師

講社懇志進納講並びにご消息ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご尽力いただいている本願寺全国講社連絡会の各講社より、この一年間の進納品並びに懇志進納額が読みあげられ、目録進呈後、一九六五（昭和四十）年に本願寺第二十三代勝如上人が発布された「講社への消息」が披露されます。

と　き ● 1月15日（木）11時50分
ところ ● 御影堂



講社ホームページを随時更新中です。歴史や年間行事など幅広く紹介しております。
http://kousha.hongwanji.or.jp

参拝教化部

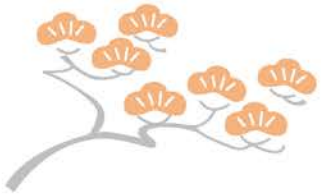
16日 金

開門 5:00　閉門 17:00

帰敬式（御影堂）

午後の部 13:30

（15日19時～）5時40分迄	通夜布教P.23	聞法会館（2会場）
6時00分	晨朝（小経（漢音）・正信偈（真譜））※午前の帰敬式は行われません	両堂
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分（約95分）	**日中法要　報恩講作法**	御影堂
13時30分	帰敬式	御影堂
14時00分	常例布教（昼座）P.47	総会所



御正忌報恩講　奉讃演奏会 2026

―通夜布教前のひとときを　仏教讃歌とともに―

合唱や笙による仏教讃歌の調べをお楽しみください。

と　き ● 1月15日(木)16時～17時30分(開場15時30分)
ところ ● 聞法会館１階 総会所（入場無料）

プログラム
・如来の作願をたづぬれば
・聖夜　・芬陀利華
・みんな花になれ（愛唱歌）　他
※曲目は都合により変更となる場合があります

〔出演〕
本願寺合唱団
（指揮：鈴木捺香子 ピアノ：井上なおみ）
Shogirls
（三浦礼美・中村華子）

演奏会の詳細はこちら→



浄土真宗本願寺派総合研究所

通夜布教


総会所

通夜布教とは、親鸞聖人ご往生の前夜に門弟や縁の深い方々が集まり夜を明かしたことに始まると言われ、15日夜から16日早朝にかけ、13名の本願寺派布教使が夜通し法話をいたします。

と　き ● 1月15日（木）19時～1月16日（金）5時40分
ところ ● 聞法会館〈2会場〉
（1階 総会所・3階 多目的ホール）

2会場同時進行！

1階 総会所	時間	3階 多目的ホール 全席椅子席
勤行（正信偈六首引）	19:00 ～ 19:30	勤行（正信偈六首引）
挨　拶	19:30 ～ 19:35	挨　拶
講師名		講師名
小林 顯英（こばやし けんえい） 大阪教区 榎並組 法栄寺	19:50 ～ 20:30	石井 法水（いしい ほうすい） 岐阜教区 西濃北組 等光寺
能勢 晃隆（のせ こうりゅう） 福岡教区 夜須組 専光寺	20:30 ～ 21:10	藤浪 正明（ふじなみ しょうみょう） 滋賀教区 坂田組 正行寺
雲林 重正（くもばやし じゅうせい） 新潟教区 与板組 淨秀寺	21:10 ～ 21:50	小林 顯英（こばやし けんえい） 大阪教区 榎並組 法栄寺
休　憩（20分）	21:50 ～ 22:10	休　憩（20分）
石井 法水（いしい ほうすい） 岐阜教区 西濃北組 等光寺	22:10 ～ 22:50	阿部 智州（あべ ちしゅう） 山口教区 熊毛組 蓮光寺
藤浪 正明（ふじなみ しょうみょう） 滋賀教区 坂田組 正行寺	22:50 ～ 23:30	能勢 晃隆（のせ こうりゅう） 福岡教区 夜須組 専光寺
野田 茜秀（のだ せんしゅう） 大阪教区 島中南組 専稱寺	23:30 ～ 0:10	雲林 重正（くもばやし じゅうせい） 新潟教区 与板組 淨秀寺
阿部 智州（あべ ちしゅう） 山口教区 熊毛組 蓮光寺	0:10 ～ 0:50	圓山 乘望（まるやま じょうぼう） 高岡教区 氷見組 法順寺
休　憩（20分）	0:50 ～ 1:10	休　憩（20分）
森島 淳英（もりしま じゅんえい） 熊本教区 天草上組 観乘寺	1:10 ～ 1:50	野田 茜秀（のだ せんしゅう） 大阪教区 島中南組 専稱寺
長井 順成（ながい じゅんじょう） 国府教区 米山組 浄善寺	1:50 ～ 2:30	日髙 法輝（ひだか ほうき） 奈良教区 高市組 称名寺
圓山 乘望（まるやま じょうぼう） 高岡教区 氷見組 法順寺	2:30 ～ 3:10	平　慈敬（たいら じけい） 安芸教区 広陵東組 西應寺
休　憩（20分）	3:10 ～ 3:30	休　憩（20分）
津守 秀憲（つもり しゅうけん） 兵庫教区 神戸中組 徳本寺	3:30 ～ 4:10	森島 淳英（もりしま じゅんえい） 熊本教区 天草上組 観乘寺
日髙 法輝（ひだか ほうき） 奈良教区 高市組 称名寺	4:10 ～ 4:50	長井 順成（ながい じゅんじょう） 国府教区 米山組 浄善寺
平　慈敬（たいら じけい） 安芸教区 広陵東組 西應寺	4:50 ～ 5:30	津守 秀憲（つもり しゅうけん） 兵庫教区 神戸中組 徳本寺
挨拶・恩徳讃	5:30 ～ 5:40	挨拶・恩徳讃

●インターネット中継を行います。

伝道本部	聞法会館			白洲特設テントエリア					募金	スタンプラリー	お茶所
			お茶所								
展示	講座	映画	展示	販売	ふるまい	展示・販売	御正忌報恩講 法要期間中 の 関連行事	販売・展示	展示		販売
⑫第69回 全国児童生徒作品展	⑪第19回 本願寺史料研究所公開講座	⑩映画上映『ドキュメンタリー沖縄戦～知られざる悲しみの記憶～』	⑨2025（令和7）年度 人権パネル展（2会場）	⑧矯正展〈キャピック展〉（2会場）	⑦あずき粥接待	⑥プトラ・プトリショップ（少年連盟教材の展示と販売）		⑤被災地復興支援物産展	④社会活動パネル展	③子どもたちの笑顔のために募金	②「西本願寺グランドツーリング」「真宗十派本山報恩講法要巡り」	①ほっとはあとショップ ～結ぶ絆から、広がるご縁へ～
				12:00～16:00			9日（金）	12:00～16:00	12:00～16:00	設置場所：伝道本部2階・統合企画室 境内各所	スタンプ設置場所：お茶所・龍虎殿	9:30～15:30
		15:30～18:00		9:00～16:00		10:00～15:00	10日（土）	9:30～16:00	9:30～16:00			
12:30 表彰式（阿弥陀堂）			テーマ「戦時下本願寺の歴史と戦後80年の歩み ～遺された資料に学ぶ～」		日中法要終了後～13:00		11日（日）					
	12:30～・15:30～						12日（月・祝）					
							13日（火）					
							14日（水）					
							15日（木）			15日のみ17:00～19:00 聞法会館1Fロビー（和室前）でパンの販売をします！		
～12:00				9:00～12:00			16日（金）	9:30～12:00	9:30～12:00			

西本願寺 小豆粥 ＜レトルト＞ 500円(税込)

親鸞聖人がお好きであったとされる小豆の入った「小豆粥（あずきがゆ）」がレトルトになりました！
ちょうどいい塩加減と生姜の風味で
身体の芯から温まります♪





販売中
・西本願寺売店（伝道本部1F「法輪」・聞法会館1F）
・大谷本廟ロビー売店

販売

① ほっとはあとショップ
～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって作製した「ほっとはあと製品」を出展販売いたします。

お店では、おいしいパンやお菓子、そして生活雑貨等の販売をいたしますので、皆さまのお越しをお待ちいたしております。



主催：特定非営利活動法人
京都ほっとはあとセンター
※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所等が合同で設立した団体です。

後援：浄土真宗本願寺派
統合企画室〈重点プロジェクト推進関係〉

日時 法要期間中 9時30分～15時30分
※16日（金）は出展販売なし

場所 お茶所（白洲総合案内所）
※15日（木）のみ17時～19時に
聞法会館1階ロビー（和室前）でパン販売

☞ 統合企画室〈重点プロジェクト推進関係〉

スタンプラリー

② 『西本願寺グランドツーリング』（全国別院巡拝スタンプラリー）『真宗十派本山報恩講法要巡り』

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り（スタンプラリー）を実施しています。お茶所・龍虎殿にてスタンプ帳を配布していますので、ぜひお立ち寄りください。



真宗十派
☞ 真宗教団連合
統合企画室
〈文書関係〉



グランドツーリング
☞ 統合企画室
〈重点プロジェクト推進関係〉

ほっとはあとショップ出展販売施設

9日(金)	•京都市うずまさ学園（パン、焼き菓子） •くらしおうえんセンターカリダ（アップサイクルさをり織り製品）
10日(土)	•大江作業所（京小麦で作った焼き菓子） •京都太陽の家（レース用車いすのミニチュアカー）
11日(日)	•ハピネス京都共同作業所（布カバン、巾着） •京都ふれあい工房（焼き菓子）
12日(月・祝)	•ボヌール（縁起物（鯛）の雑貨） •あおい苑（焼き菓子）
13日(火)	•ブラウニー（焼き菓子） •伏見工房（かばん・香袋など縫製品）
14日(水)	•飛鳥井ワークセンター（パン、焼き菓子） •サリュ（つまみ細工アクセサリー）
15日(木)	•プティパ（水引を使ったアクセサリー） •京都市だいご学園（パン、焼き菓子）

※15日のみ、17時から19時まで、聞法会館1階ロビーにて、京都市だいご学園によるパン、焼き菓子の販売があります

募金

③ 子どもたちの笑顔のために募金

宗派では「子どもたちの笑顔のために募金」を進めています。ご参拝の折にお寺などで集められた募金を伝道本部（宗務所）2階の統合企画室へお持ちください。



キャッシュレス募金
専用ページは
こちらから

場所 伝道本部（宗務所）2階　統合企画室
境内各所

☞ 統合企画室〈重点プロジェクト推進関係〉

展示

④ 社会活動パネル展

社会部では、ビハーラ活動をはじめ、矯正教化、更生保護事業など、様々な活動を推進しております。また、浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会（全養本派クラブ）では、「こども虐待防止」のシンボルマークである「オレンジリボン運動」の啓発に取り組んでおります。

広く社会に向けた活動をパネルにてご紹介しておりますので、ぜひお立ち寄りください。





日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで

場所 白洲特設テント

☞ 社会部〈社会事業関係〉

販売
展示

5 被災地復興支援物産展

二〇二四年一月一日に発生した令和六年能登半島地震を受け、宗門は継続的な被災地支援のために、多岐にわたる復旧支援活動を行っています。具体的な活動内容は、物資搬送、災害廃棄物撤去、炊き出しを行っております。さらに、二〇二四年十月からは、仮設住宅集会所や公民館等で、傾聴を中心としたお茶会である「サロン活動」を定期的に開催し、被災地の方々に寄り添った活動を続けております。また、二〇二一年三月十一日に発生した東日本大震災についても、現地の復興は進みつつあるものの、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響などにより、未だに様々な困難を抱えている状況です。二〇二五年八月には九州地方を中心とする豪雨など、自然災害による甚大な被害が各地にもたらされています。宗門は、「現地の復興」と「寄り添い」を大切に、「いま私たちができる活動」を続けてまいります。

本物産展では、東日本大震災ならびに能登半島地震の被災地物産をご紹介・販売いたします。また、宗門の支援活動や現地の状況を紹介するパネル等の展示も併せて行います。被災地の復興への願いを込めた品々を通じて、「いま私たちができる活動」にご協力いただければ幸いです。皆様の温かいご支援を心よりお待ちしております。

日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで

場所 白洲特設テント

社会部〈災害対策関係〉

展示
販売

6 プトラ・プトリショップ
（少年連盟教材の展示と販売）

少年連盟キャラクターの「プトラ」「プトリ」をモチーフにした「おまいりトート」をはじめ、すごろく（親鸞さま編・お釈迦さま編）、腕輪念珠などの教材を広く知ってもらい、少年教化活動に活用していただこうと教材の展示と販売をしています。ぜひお立ち寄りください。

「プトラ」と「プトリ」に会えるかも。



日時 1月10日（土）、
11日（日）、
12日（月・祝）
10時～15時まで

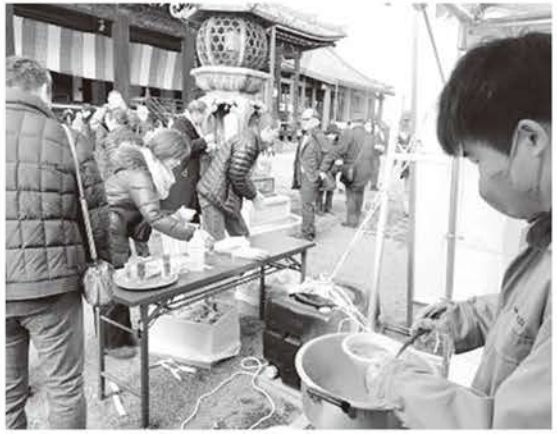
場所 白洲特設テント

教化部〈組織教化・ご縁づくり関係〉

ふるまい

7 あずき粥接待

ご参拝の皆さまに心身ともに温まっていただけるよう、親鸞聖人がお好きであったとされる小豆を炊きあげ、あずき粥の接待を行っております。職員有志にてご提供いたしますので、是非お立ち寄りください。



日時 1月11日（日）
日中法要終了後～13時
（無くなり次第終了）

場所 白洲特設テント

職員共済会

展示
販売

8 矯正（きょうせい）展〈キャピック展〉

宗門所属の教誨師（きょうかいし）・篤志面接委員（とくしめんせついいん）（約二六〇名）が全国の刑務所や少年院等において、社会貢献の一環として宗教教誨や面接活動を実施しています。その被収容者の社会復帰に備え、施設職員の指導のもと、各施設内の工場等で制作される刑務作業製品（家具・靴・伝統工芸品など心をこめた逸品）の展示販売会をおこなっていますので、ぜひお立ち寄りください。





①大人気の「函館刑務所マル獄シリーズ」
②汚れ落としのスーパースター「ブルースティック」
③組合せ自由自在「カラー整理箱」

主催：（公財）刑務作業協力事業部／
浄土真宗本願寺派矯正教化連盟
後援：京都刑務所
協賛：刑務作業協賛業者

日時 法要期間中 9時～16時
※9日は12時から、16日は12時まで

場所 白洲特設テントおよび
聞法会館1階 和室（2会場）

社会部〈社会事業関係〉

展示

⑨ 2025（令和7）年度 人権パネル展

人権週間より御正忌報恩講法要までの期間、宗派が推進する「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の具体的な取り組みのひとつとして開催しております。

今回は、二〇二五（令和七）年の「戦後80年」を機縁とし、テーマを『戦時下本願寺の歴史と戦後80年の歩み～遺された資料に学ぶ～』として、長きにわたり大切に保管されてきた貴重な資料を交え、展示いたします。

今、平和に向けて、私たちに何ができるのでしょうか。これまでの歩みを振り返り、大切にすべきことをともに考えてまいりましょう。



日時 人権週間（12月4日）～1月16日（金）

場所 聞法会館1階 総会所横廊下 お茶所（資料展示）

社会部〈人権問題関係〉・浄土真宗本願寺派総合研究所・本願寺史料研究所

映画

⑩ 映画上映 『ドキュメンタリー沖縄戦 ～知られざる悲しみの記憶～』

戦後80年を機縁に、宗派製作映画を上映いたします。当日は、映画製作にご協力くださった石川八代子さん（沖縄別院総代）をお迎えし、作品に込められた思いや沖縄戦をめぐるお話をうかがいます。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

【テーマ】記憶の灯火 ―沖縄戦を語り継ぐ― ～石川八代子さん（沖縄別院総代）との対談&映画『ドキュメンタリー沖縄戦』上映～

【開　会】十五時三十分～

【対　談】十五時三十分～ 対談者 石川八代子さん

【映画上映】十六時～

【閉　会】十八時頃

日時 1月10日（土） 15時30分～18時

場所 聞法会館1階 総会所

浄土真宗本願寺派総合研究所

公開講座

⑪ 第19回 本願寺史料研究所 公開講座 無料

本願寺の歴史をひもとく公開講座を開催いたします。ぜひご聴講ください。

【開　場】十二時～

【あいさつ】十二時三十分～ 赤松徹眞（本願寺史料研究所長）

【第一部】十二時三十五分～ 約一時間 長上 深雪（龍谷大学名誉教授）「本願寺と社会事業」

【第二部】十五時三十分～ 約一時間 安部 弘得（本願寺史料研究所研究助手）「明和の法論―学林所化衆と播磨智暹の諍論―」

日時 1月12日（月・祝） 12時30分～／15時30分～

場所 聞法会館3階 多目的ホール

ご予約はこちらから↓

本願寺史料研究所公開講座係

展示

⑫ 第69回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。応募作品の中から、「特選」（各部門各学年から1名）を選び、御正忌報恩講期間中に阿弥陀堂で表彰します。

全国から応募された力作を、ぜひご覧ください。



日時 法要期間中 ※16日は12時まで

[表彰式] 1月11日（日）12時30分（阿弥陀堂）

場所 伝道本部東棟1階ロビー

教化部〈組織教化・ご縁づくり関係〉

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金
「令和6年能登半島地震 災害義援金」
募集について

2024年1月1日発生の「令和6年能登半島地震」の被害は8教区に及び、最も被害の大きかった能登半島地域では多くの方が避難生活を余儀なくされており、寺院・門信徒ともに甚大な被害報告が寄せられました。宗派では、被災地の支援を目的に、2024（令和6）年 1月5日より標記募金の募集を行っておりますので、引き続きご協力をお願い申しあげます。

記

1.募金の名称
浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金
「令和6年能登半島地震 災害義援金」

2.受付口座番号
郵便振替　０１０００－４－６９９５７
加入者名　たすけあい募金

銀行振込
銀行　ゆうちょ銀行
店名　一〇九（イチゼロキュウ）店
番号　当座　００６９９５７
名義　たすけあい募金

※通信欄に「能登地震」とご記入ください。住所、連絡先、領収書名のご記入をお願いします。
※インターネットバンキングにて振込の方は、振込日・金額・送金人・住所・連絡先・領収書名等についてメールアドレス（saigai-taisaku@hongwanji.or.jp）にお知らせをお願いいたします。
お預かりした募金は災害義援金として、被災地へお送りさせていただいております。

3.受付期間
2024（令和6）年1月5日（金）から継続

4.問い合わせ先
浄土真宗本願寺派宗務所 ☞ 社会部
TEL：075-371-5181（代）
mail：saigai-taisaku@hongwanji.or.jp

龍虎殿・安穏殿・お茶所・聞法会館ロビー等に募金箱を設置しております。

※支援活動内容など最新情報は、浄土真宗本願寺派公式ウェブサイトでご確認いただけます。

★能登支援の商品も並ぶ被災地復興支援物産展（P.27）へもお立ち寄りください。

親鸞聖人のご生涯（御絵伝解説）

親鸞聖人のご生涯を描いた掛軸を『御絵伝』といいます。

『御絵伝』は、聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、文章と絵からなる『本願寺聖人親鸞伝絵』（絵巻物）を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が〝文章の部分『御伝鈔』（『御伝記』）〟と〝絵の部分『御絵伝』〟に分けられます。浄土真宗のお寺では古くから報恩講（聖人のご命日法要）の際に『御絵伝』を奉懸し、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれてきました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』（33～40ページ）は、平成二十三年（二〇一一年）にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、繪表所より寄進された二幅の『御絵伝』を、軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。



出家学道（下段・上段左）

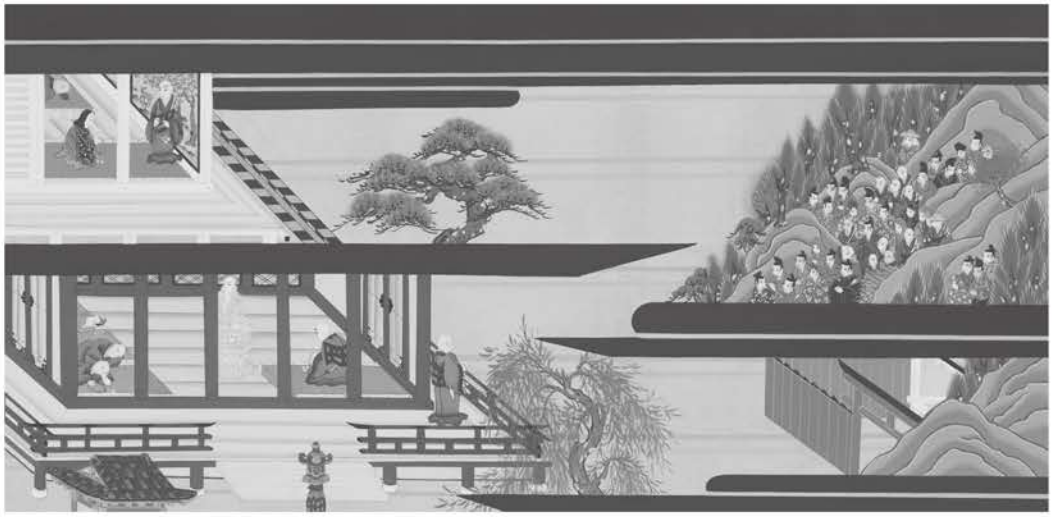
親鸞聖人は、平安時代末期の承安三年（一一七三）、藤原氏の流れを汲む日野家に誕生されました。時は、貴族の世から武士の世に移り変わる変革期。争いの絶えない世相の中、聖人は仏法を盛んにし人々を救おうと出家し、範宴と名のり比叡山に上られます。御歳九歳の春のことでした。

出家の儀式（得度）の際、聖人は「明日ありと　思う心のあだ桜　夜半に嵐の　吹かぬものかは」という歌を詠んだと伝えられています。夜、早急に出家したいとの要望を師の慈円和尚に断られた時に詠われたものです。自らの命をはかなく散る桜に重ね、「今」出家したいという聖人の強い思いに胸を打たれた慈円和尚は、すぐさま出家の儀式を執り行われました。

各場面には桜が咲き誇り、上段左には、慈円和尚が見守る中、剃髪（髪を剃る）される幼い聖人が描かれています。僧侶は紙燭を持ち、儀式が夜であったことが表現されています。

吉水入室（上段右）

建仁元年（一二〇一）、二十九歳の親鸞聖人は、六角堂（頂法寺）の参籠（次項）を経て、吉水の法然聖人（源空聖人）を訪ねお弟子となられます。ここでは、白い衣と袈裟を着けた親鸞聖人が法然聖人と対面し、教えを聞く様子が描かれています。



六角夢想（下段・上段右）

親鸞聖人は二十九歳の時、二十年間修行された比叡山を下り、六角堂での百日間の参籠にのぞまれます。参籠を始めて九十五日目の明け方、聖人は六角堂の本尊・救世観音菩薩から夢のお告げ（夢告）を授けられました。この夢告によって、親鸞聖人は法然聖人のもとを訪ねる決意をすることになります。

『御絵伝』には、六角堂の左端で横になる親鸞聖人と、救世観音菩薩から夢告を授かる聖人が描かれています。六角堂の縁側に立ち人びとに向かって説法する聖人の姿も、聖人の夢の内容を表したものです。

蓮位夢想（上段左）

この場面では、親鸞聖人八十四歳の建長八年（一二五六）の話が描かれます。その年の二月九日の明け方、聖人のお弟子である蓮位が夢をみました。それは、聖徳太子が親鸞聖人を阿弥陀如来として敬い礼拝されたという夢で、聖人が阿弥陀如来の化身であることを表すものでした。『御絵伝』には、親鸞聖人に礼拝する聖徳太子と、夢をみる蓮位が描かれています。

親鸞聖人のご生涯 ①



【選択付属】

親鸞聖人は三十二歳の時、師の法然聖人から『選択本願念仏集（選択集）』を伝授（付属）され、法然聖人の絵像の図画を許されました。

『選択集』は、念仏一行によってあらゆる人が救われるという「専修念仏」の教えが体系的に説かれた法然聖人の主著です。当時、専修念仏の教えは非常に革新的であり、従来の仏教を信仰する人たちには受け入れ難いものでした。そのため法然聖人は他宗との摩擦を避けるためこの書の公開を制限し、信頼できる数人の門弟にだけ伝授されたのでした。

親鸞聖人は主著『顕浄土真実教行証文類』の最後に、『選択集』伝授と絵像の図画を許されたことの感激を記しています。これは、ご自身の経歴についてほとんど何も語らなかった親鸞聖人においては異例のことで、それだけこの出来事が聖人のご生涯において大きな意味を持つものであったことがわかります。

『御絵伝』の右に描かれるのが、法然聖人の住房において『選択集』を伝授される場面です。左には、親鸞聖人が絵像を図画したものに、法然聖人が「南無阿弥陀仏」の名号と善導大師の『往生礼讃』のご文を書き入れられる場面が描かれています。



【信行両座】（下段）

ある時、親鸞聖人は「お弟子方のお心をうかがってみたく存じます」と法然聖人にご相談します（右）。翌日、親鸞聖人は集まった三百人余りのお弟子方に、「浄土への往生は、信心によって決まるのか、念仏を励む功徳によって決まるのか、どちらかの席に分かれてお示しいただきます」とお願いしました。「信心」の席には、親鸞聖人と他二人のお弟子、そして遅参して頭をかく法力房（熊谷直実）、最後に法然聖人が座りました（左）。

【信心諍論】（上段右）

ある時、親鸞聖人が「法然聖人と私の信心は同じです」とお弟子方にお話すると、咎められ論争になりました。すると法然聖人が、「信心は阿弥陀如来よりいただくものであるから、私の信心も善信房（親鸞聖人）の信心も同じである」と仰いました。

【入西鑑察】（上段左）

親鸞聖人七十歳の時のこと。聖人の絵像を作りたいと思っていたお弟子の入西の願いを察し、聖人が「定禅という絵師に描かせるがよい」と仰いました（右）。依頼を受け聖人に対面した定禅は驚きます。聖人のお顔が昨晩夢に見た尊い僧侶の顔と同じだったからです。その僧侶を阿弥陀如来だと思っていた定禅は、喜びの涙を流しながら聖人のお姿を描きました（左）。



【念仏停止】（下段右）

専修念仏の教えが広まるにつれ、奈良興福寺や比叡山延暦寺といった聖道門との間に摩擦が起こるようになります。そしてついに聖道門の僧侶が法然聖人を朝廷に訴え、承元元年（一二〇七）、専修念仏は禁止されました。『御絵伝』には、訴えを取り次ぐ公卿（門の外）と、公卿が検非違使長官に念仏禁止を申し渡している様子（門の中）が描かれています。

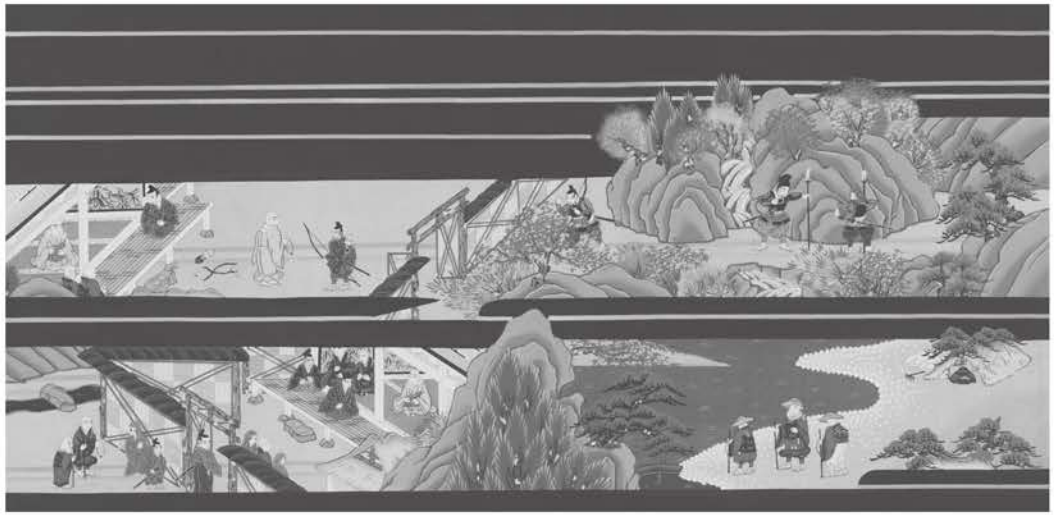
【公卿僉議】（下段左）

聖道門からの訴えを受けて、御所で行われた評議の様子です。土御門天皇がおられる御簾の前に公卿が描かれています。

評議の結果、専修念仏は禁止され、四人が死罪、八人が流罪となります。法然聖人は土佐国（実際には讃岐）、親鸞聖人は越後国へ、還俗（僧侶の身分を剥奪）の上、流罪となりました。この時、法然聖人は七十五歳、親鸞聖人は三十五歳でした。

【師資遷謫】（上段）

法然聖人（左）と親鸞聖人（右）はそれぞれ流罪地に旅立ちました。今後、二人が再会することはありませんでした。



【稲田興法】（下段）

親鸞聖人三十九歳の建暦元年（一二一一）、流罪が赦免されます。聖人はその後も越後にとどまられ、四十二歳頃に関東に向かわれました。聖人は関東において、常陸国稲田に草庵を結ばれます。聖人は草庵を訪れた多くの人びとに念仏の教えを伝えられました。

『御絵伝』に描かれるのは、聖人一行が越後から関東に向かう様子（右）と、僧俗を問わず多くの人びとが稲田草庵を訪れ、聖人の教えを聴聞している様子です（左）。

【弁円済度】（上段）

ある時、念仏の教えが広まることを快く思わない弁円という山伏が聖人の命を狙います。しかし不思議なことに、聖人が日頃行き来する板敷山で待ち伏せしても、なかなか会うことができませんでした。しびれを切らせた弁円はついに草庵に押しかけますが、聖人のお顔を拝した途端、後悔の涙を流しお弟子となります。聖人は弁円に「明法」という名を授けられました。

『御絵伝』には、山中で聖人を待ち伏せする山伏たち（右）と、草庵を訪れた弁円が山伏の装束を脱ぎ捨て聖人のお弟子になる様子（左）が描かれています。



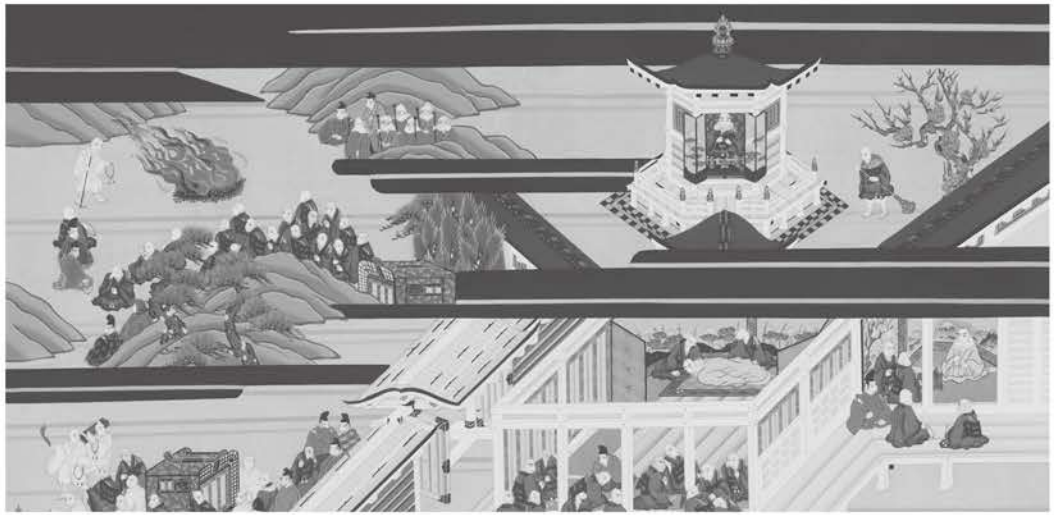
【箱根霊告】（下段左）

親鸞聖人は六十歳を過ぎた頃、およそ二十年を過ごした関東を離れ、京都へ帰られます。その道中、箱根神社を通った時、正装した宮司が出てきて言いました。「今、箱根権現が私の夢に現れ、〈尊敬する方がこの道を通られるから丁重におもてなしをしなさい〉とお告げになったので、出てまいりました」。『御絵伝』には、聖人一行と出迎える烏帽子姿の宮司が描かれています。

【熊野霊告】（下段右・上段）

常陸国大部郷に、平太郎という親鸞聖人のお弟子がいました。ある時、領主の従者として熊野神社に参詣しなければならず、その是非をお聞きするために京都の聖人を訪ねます。

聖人は、「熊野権現は、人びとを救うために阿弥陀如来がこの世に現れたものであるから、阿弥陀如来の本願を信じて熊野神社にお参りすればよい」と仰せになり、平太郎はそのお言葉のままに熊野神社に参詣しました。その夜、平太郎の夢に正装した男（熊野権現）と親鸞聖人が現れ、男が聖人に敬意を込めて礼拝されました。



【洛陽遷化】（下段・上段左）

親鸞聖人は、弘長二年十一月下旬頃から体調を崩されました。それからというもの、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩の深いことを述べられ、ひたすらお念仏を称えておられました（下段右）。そして、十一月二十八日の正午頃、多くのお弟子に見守られるなか、頭を北にして顔を西に向け、右脇を下にしたお姿で往生されました（下段中央）。御歳九十歳でした。

聖人のご遺体は、東山鳥辺野の延仁寺に移されて（下段左）荼毘に付され（上段左）、ご遺骨は、鳥辺野の北の大谷の地に納められました。

【廟堂創立】（上段右）

親鸞聖人が往生されてから十年後、お弟子がたは大谷の墓所を移転し、吉水の北の地に廟堂（大谷廟堂）を建て聖人の御影像（御真影）を安置しました。聖人の教えを受けた人々や、その教えを喜ぶ多くの人々がこの廟堂に毎年足を運び、聖人のご恩を偲んでいます。

大谷本廟（おおたにほんびょう）

【親鸞聖人のご廟所】

京阪「清水五条」駅より徒歩約15分
市バス（206・207）・京阪バス（311・312）で「五条坂」降車



京都東山五条の大谷本廟は、親鸞聖人をはじめ歴代宗主のご廟所（墓所）です。聖人のご廟である祖壇のお側に納骨させていただきたいという思いから、全国の門信徒が納骨をされる場所として、毎日大勢の方々がご参拝され、香煙がたえません。

大谷本廟の総門（山門）をくぐると、正面に仏殿があります。その奥に、祖壇とその拝堂である明著堂があります。また、廟所の山側には広大な大谷墓地が広がり、聖人が火葬された御茶毘所があります。

大谷本廟は、今も昔も有縁の方々が、納骨・永代経・墓参などをご縁としておみのりを聴聞される場所です。その由緒を大切にされる多くの皆さまのご参拝を心よりお待ちいたしております。

京阪バス時刻表 311 312

本願寺・大谷本廟 循環バスは2021年3月末をもって運行終了しました。

西本願寺➡大谷本廟 大人230円(小児120円)

時	平日	土曜・休日
7	39	44
8	09 34	14 44
9	14 44	14 44
10	14 44	14 44
11	14 44	14 44
12	14 44	14 44
13	14 44	14 44
14	14 44	14 44
15	14 44	14 44
16	14 44	14 44
17	19 44	19 44
18	19 49	19 44
19	24 49	19 44
20	24 49	19

※上表は「西本願寺前」の時刻です。「西本願寺（聞法会館前）」は各2分後になります。

乗：京都駅八条口 → 西本願寺前 → 堀川五条 → 五条西洞院 → 烏丸五条 → 五条高倉 → 河原町五条 → 五条京阪 → 五条大和大路 → 降：五条坂

行先：大宅行、京阪六地蔵行、醍醐バスターミナル行、五条坂行

大谷本廟➡西本願寺（京都駅八条口） 大人230円(小児120円)

時	平日	土曜・休日
7	04 27 52	12 42
8	41	12 42
9	13 41	12 42
10	12 42	12 42
11	12 42	12 42
12	12 42	12 42
13	12 42	12 42
14	12 42	12 42
15	12 42	12 42
16	12 42	12 47
17	07 42	14(12) 48(47) ※
18	13 47	11(10) 48(47) ※
19	11 46	11 47
20	11	

※土曜と休日で発車時刻が変わります。

乗：五条坂 → 五条大和大路 → 五条京阪 → 河原町五条 → 五条高倉 → 烏丸五条 → 堀川五条 → 降：西本願寺前 → 京都駅八条口

行先：京都駅八条口行

通年

	総門	無量寿堂
開門(堂)	5：30	8：00
閉門(堂)	17：00	16：30

納骨・読経受付時間

毎日 9：00～15：00

住所・電話番号

〒605-0846
京都市東山区五条橋東6丁目514
電話番号（075）531-4171（代）
FAX番号（075）531-2072
https://otani-hombyo.hongwanji.or.jp

日野誕生院（ひのたんじょういん）

【親鸞聖人ご誕生の地】

京阪・地下鉄・JR「六地蔵」駅または
地下鉄「石田」駅から京阪バスで「日野田頬町」より徒歩5分



京都の東南にあります日野誕生院は、親鸞聖人のご誕生の地であり、本願寺第20代宗主広如上人時代にご誕生の地を顕彰して、お堂が建立されたことに始まります。

平安時代の様式による堂内には、ご本尊及び聖人六歳のお姿を写したといわれる「幼童の御影」、そして、聖人の父である日野有範卿の木像がご安置されており、また、境内には、聖人ご誕生の際に使用されたと伝わる「産湯の井戸」などがあります。


産湯の井戸

住所・電話番号

〒601-1417
京都市伏見区日野西大道町19
電話番号（075）575-2258
FAX番号（075）575-2241

角坊（すみのぼう）

【親鸞聖人ご往生の地】

地下鉄「太秦天神川」駅または嵐電「山ノ内」駅より徒歩10分



京都山ノ内にあります角坊は、親鸞聖人が晩年のお住まいとされた善法坊跡であり、本願寺第20代宗主広如上人時代に「聖人ご往生の地」と定められ、坊舎が建立されたことに始まります。

ご本尊がご安置されている還浄殿は六間四面のひのき造りで、正面欄間には聖人ご往生の様子が彫刻・装飾されており、また、正面の「還浄殿」の額は広如上人のご染筆です。

親鸞聖人七百五十回大遠忌事業の一環として大規模な境内整備が行われ、現在に至っており、六月には『広如忌』の法要をお勤めいたしております。

住所・電話番号

〒615-0091
京都市右京区山ノ内御堂殿町25番地
電話番号（075）841-8735
FAX番号（075）841-8736

ご参拝の皆さまへ

御正忌報恩講法要期間中の帰敬式のご案内

～当日のお申し込みでも法名をいただくことができます～

帰敬式は「おかみそり」とも呼ばれ、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにしお念仏とともにこのいのちを精いっぱい生きることを誓う大切な儀式です。

仏教をひらかれたお釈迦さまの「釋」の一字と※漢字二文字からなる「法名」が授けられます。

「法名」とは、み教え(法)を依りどころとしてお浄土への道を歩ませていただく仏弟子としての「名のり」です。

※漢字二文字は、経典(浄土三部経)や親鸞聖人のご著書の中より選ばれています

本願寺HP

帰敬式のご案内

時間

■1月9日(金)～15日(木)
【午前の部】晨朝(午前6時)に引き続き
【午後の部】午後1時から

■1月16日(金)(午前の部は行われません)
【午後の部】午後1時30分から

受付

【午前の部】(式は御影堂にて行われます)
前日または当日の開門後、龍虎殿(参拝教化部)にてお申し込みください。
※晨朝後、御影堂での受式希望も受付可能です。

【午後の部】(式は御影堂にて行われます)
受式1時間前までに龍虎殿(参拝教化部)にてお申し込みください。

冥加金

【成 人】10,000円　【未成年】5,000円
※成人年齢は18歳
※希望する法名(2文字)がある場合、所属寺住職と相談のうえ、法名を内願することができます。受式希望日より2か月前の申請が必要となり、上記冥加金に加えて10,000円以上の懇志をお納めいただきます。



法名の他、お念珠、式章、帰敬文、浄土真宗 必携 み教えと歩むをお渡ししています。



帰敬式法名用紙・包み紙

参拝教化部（帰敬式係）

※本人以外の受式は認められません。
※2026(令和8)年4月1日より成人12,000円、未成年6,000円となります。





「院号」をいただくには

院号は、宗門へ貢献をされた方や、20万円以上の永代経懇志を納めていただいた方へお渡ししているものです。

おくられる院号は「○○院」の漢字3文字で浄書(墨書き)したものに本願寺印が押印されています。院号はご自身の希望の文字を入れて、内願することができます。帰敬式を受式されている方には、院号のあとに法名「釋○○」が併記されます。





「院号」がいただける基準

- 寺院の門徒総代を通算20年(5期)以上経歴された方や、寺院の責任役員を通算12年(3期)以上経歴されるなどその功績が認められた方
- 宗門および本山に多額の永代経懇志を進納された方(懇志20万円以上の永代経扱いとして交付)

■永代読経修行之証

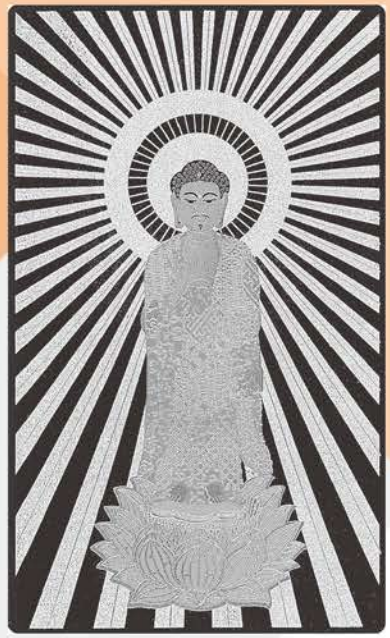
永代経申し込み後、初めて法要にお参りいただいた際に、「永代読経修行之証」という証書をお渡しします。この証書をお持ちいただいた方には、これ以降本願寺 国宝「阿弥陀堂」にて、原則1日2回修行される総永代経法要にいつでもお参りいただき焼香することができます。



参拝教化部（永代経係）

※大谷本廟でもお申し込みいただけます。
※お世話になっているお寺のある方は、お寺にご相談ください。

携行本尊（絵像）



縦90㎜×横55㎜×厚み2㎜
漆ブラック調バイオプラスチック

冥加金 10,000円

携行本尊とは、「独りじゃないよ、いつも一緒だよ」と、よびかけてくださる阿弥陀さまを
いつでもどんな時でも感じられるよう、
持ち歩くことができる名刺サイズの御本尊です。
ご自身のために、また遠く離れて暮らすご家族のために、
ぜひお求めください。
西本願寺（龍虎殿）で直接お迎えいただけるほか、
ホームページからのお申し込みも可能です。

PR動画及び
申込みフォーム
はこちら→

携行本尊関連商品のご案内

※下記関連商品は【取扱い】先からお求めください。



・二つ折携行本尊入（4種）
・ホック付き携行本尊袋（3種）
・携行本尊ケース（茶・白）
・本尊スタンド（丸型・角型）他

【取扱い】
開明社（西本願寺売店）
TEL.075-341-4397



携行本尊専用
レザーケース（3種）

【取扱い】
井筒法衣店
WEBカタログ
TEL.0120-075-720



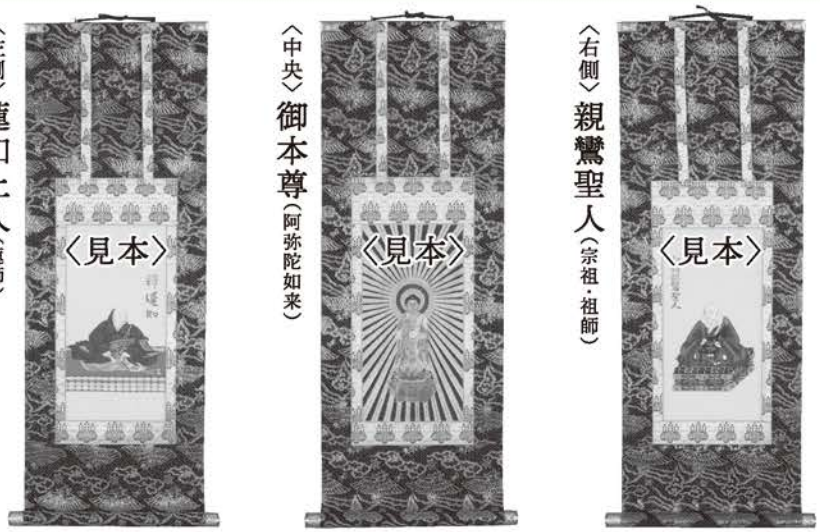
携行本尊用
フレーム＆台座

【取扱い】
いのりオーケストラ
オンラインショップ
www.inori-orchestra.net

すべてのご家庭に阿弥陀さまを

ご本尊

龍虎殿（参拝教化部）受付にてお迎えいただくことができます。



※上記写真の他に六字尊号（南無阿弥陀仏）、九字尊号（南無不可思議光如来）、十字尊号（帰命尽十方無碍光如来）がございます。
※大きさと表装の違いにより冥加金額が変わりますので、詳しくは参拝教化部（免物係）までお問い合わせください。

いちょう・きく

いろいろな生活環境においても、心のよりどころとしてのご本尊を安置していただける小型の「いちょう」と「きく」があります。それぞれにご絵像と六字名号があります。



いちょう
（縦24cm×横19cm×奥行9cm）
冥加金 30,000円



きく
（縦17.2cm×横10.3cm×奥行2.9cm）
冥加金 20,000円

Web申し込みが
できるようになりました。
ぜひ、ご利用ください。

申込フォームはこちら
門信徒／一般用
寺院用

※2026（令和8）年4月1日から冥加金を改定いたします。詳しくは西本願寺ホームページをご確認ください。

参拝教化部（免物係）

お西さんで過ごす一日



毎日

5:30～	開門	
6:00～	晨朝（お勤め・法話・御文章）	両堂（阿弥陀堂・御影堂） ▶LIVE
引き続き	帰敬式	御影堂
11:00～	お西さんの法話	御影堂 15分1席 ※配信なし
11:30～	総永代経（お勤め・法話）	阿弥陀堂 ▶LIVE
13:30～	帰敬式	御影堂
14:00～	常例布教〈昼座〉	総会所 30分2席 ▶LIVE
15:00～	総永代経（お勤め・法話）	阿弥陀堂 ※配信なし
16:00～	お夕事（お勤め）	両堂（阿弥陀堂・御影堂）
17:00～	閉門	
毎週土曜日 17:00～	お西さんの土曜法話	総会所 40分1席 ▶LIVE



※本法要期間中は上記内容と異なります。ホームページ等で確認ください。

YouTubeにてお聴聞ができます！

毎日の晨朝・昼座とお西さんの土曜法話をYouTubeで
▶LIVE 配信しています。
また、過去の法話(アーカイブ)も公開中です。
下記チャンネルでは、いつでもどこでもご法話を聴聞できます。





YouTubeチャンネル
お西さん【西本願寺公式】

晨朝〈朝のお勤め〉
毎朝(6:00)／阿弥陀堂・御影堂 ▶LIVE

昼座 毎日(14:00)／総会所 30分2席 ▶LIVE

お西さんの土曜法話
土曜日(17:00)／総会所 40分1席 ▶LIVE



※本法要期間中は上記記載時間と異なります。
P9.10にてご確認ください。

参加者17万人を達成!!

「お西のお坊さん」による境内案内

お西さんを知ろう!



1日4回　所要時間…約30分
集合場所：お茶所

1回目 10:00～　2回目 11:30～
3回目 13:45～　4回目 15:30～



本願寺の僧侶"お西のお坊さん"が、両堂や境内各所を法話を交え、ご案内いたします。
どなたでも何度でもご参加できます。
参加希望の方は、
上記開催時間までに
お茶所にお越しください。
※本法要期間中も開催いたします。

何がもらえるかはお楽しみ♪

ご参加いただいた方には…

オニシ024Card 全24種
1枚をプレゼント！
本願寺の見どころを紹介するオリジナルカードです。



2026（令和８）年 本願寺の法要行事

元旦会・修正会	1月 1日（木・祝）
御正忌報恩講法要	1月 9日（金）～16日（金）
如月忌	2月 7日（土）
本山成人式	3月 7日（土）
春季彼岸会	3月17日（火）～23日（月）
花まつり	4月 7日（火）～ 8日（水）
〈春の法要〉立教開宗記念法要	4月13日（月）～15日（水）
誕生会（日野誕生院宗祖降誕会）	5月19日（火）
宗祖降誕会	5月20日（水）～21日（木）
広如忌（角坊）	6月 1日（月）～ 2日（火）
大谷本廟納骨・永代経総追悼法要	6月 5日（金）～ 8日（月）
第23代宗主勝如上人25回忌法要	6月12日（金）～14日（日）
朝の法座（大谷本廟）	7月20日（月・祝）～22日（水）
盂蘭盆会	8月14日（金）～15日（土）
戦没者追悼法要	8月15日（土）
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 （東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑）	9月18日（金）
秋季彼岸会	9月20日（日）～26日（土）
龍谷会（大谷本廟報恩講法要）	10月15日（木）～16日（金）
〈秋の法要〉全国門徒総追悼法要	11月22日（日）～23日（月・祝）
御煤払	12月20日（日）
除夜会	12月31日（木）



宗祖月忌法要　毎月15日・16日（※1月は除く）
※16日はShinran's Day（親鸞聖人の日）

お西さん（西本願寺）SNS紹介

お西さんの最新情報を各種SNSでチェック！
ぜひフォローしご活用ください

公式ホームページ　LINE　Instagram　X　YouTube

御正忌報恩講法要期間中の仏華（ぶっか）

1月９日～12日午前



（御影堂）

1月12日午後～16日



（御影堂）



御影堂内陣

お斎（とき）接待のご案内

国宝の鴻之間で
精進料理をぜひお召しあがりください。

■時間：【1回目】12時頃～ 【2回目】13時頃～
■場所：鴻之間

詳しくはP.14



2026（令和8）年1月9日発行　編集・発行／参拝教化部　印刷／（株）アースワーク

031-10-62